

# おち町

No.98

2011年11月1日発行  
高知県越知町議会

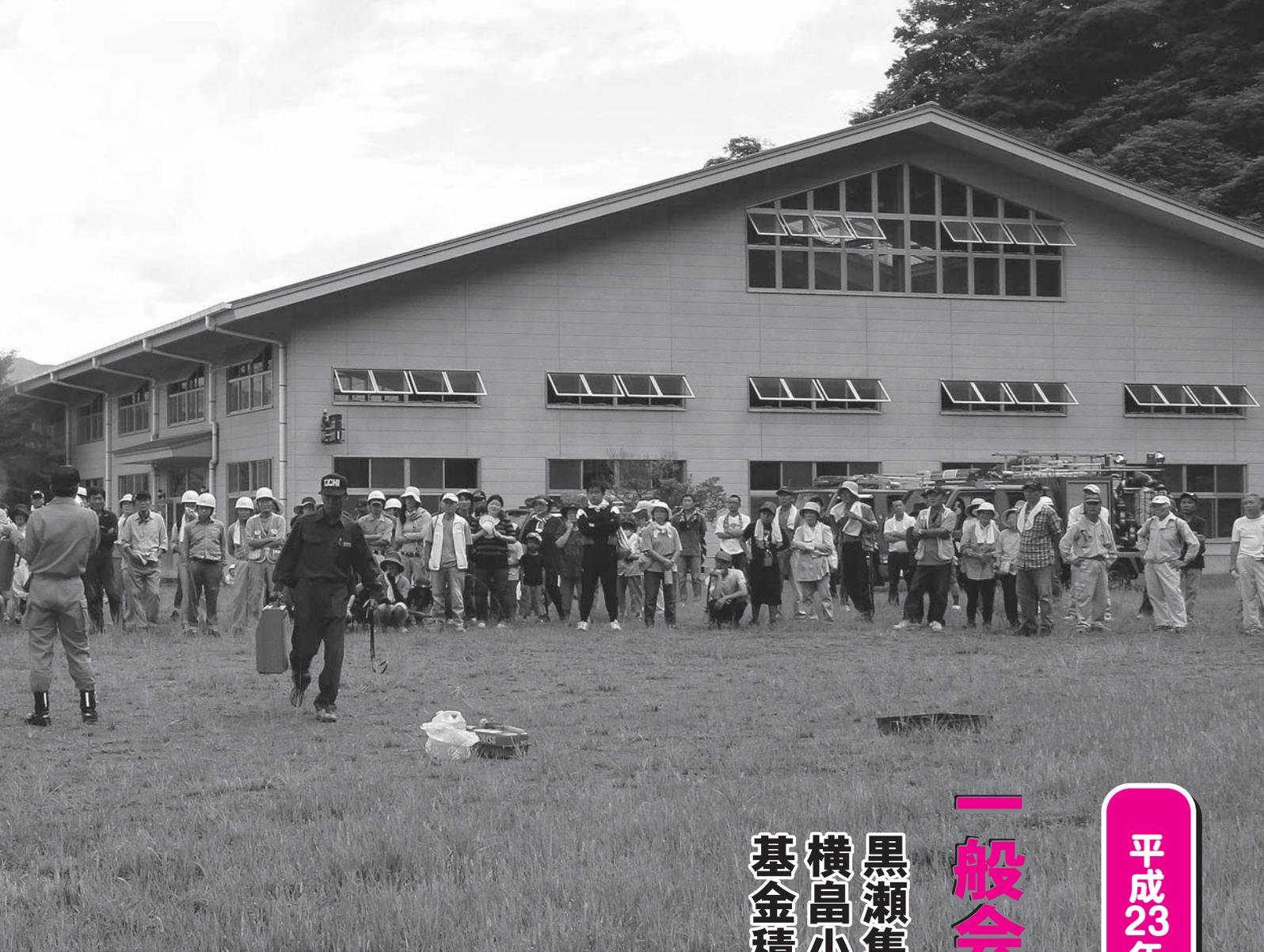
議会だより OCHI TOWN



明治地区ぐるみ会  
30回記念運動会

## 9月定例会

- 2P **23年度一般会計補正1億8070万円**  
黒瀬集会所建築工事、横富小学校と小舟住宅の防水工事など
- 4P **平成22年度決算総額67億8642万円**
- 7P **22年度のお金の使い道を検証** (決算合同審査)
- 11P **桐見川小学校117年の歴史を閉じる** (条例改正)
- 13P **防災対策やソニア問題などを6人が質問** (一般質問)



平成23年9月定例会

一般会計補正1億8070万円

黒瀬集会所建築工事  
横畠小学校と小舟住宅の防水工事  
基金積み立てなど

9月定例会は、9日から14日までの会期で開き、平成23年度一般会計補正予算や桐見川小学校閉校に伴う条例改正など8件と平成22年度各会計決算〔4ページから〕を全会一致で可決・認定しました。

一般質問〔13ページから〕は6人が登壇し、防災対策や㈱ソニア問題などについて執行者の考えをたしました。

### 9月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		1億8070万円	43億9649万円
特別会計	簡易水道	43万円	1635万円
	下水道	△74万円	1億5444万円
	土地取得	22万円	1990万円
企業会計（水道事業）		806万円	6000万円

# 9月4日の防災訓練 大勢の町民が集まる



## 桐見川小学校が閉校

【10頁、11頁に関連記事】

### 主な補正内容

#### 総務費

財政調整基金積立金5040万円。黒瀬集会所建築工事1500万円。町民会館駐車場舗装工事、廃止路線代替バス運行補助金など。

#### 農林水産業費

有害鳥獣対策費、農道拡幅工事、柴尾農業用施設改修工事、林道小日浦線舗装補修工事など。

#### 土木費

住宅耐震改修補助金270万円。道路修繕・改良・側溝改修工事など2520万円。小舟住宅3号棟屋上防水工事など。

#### 教育費

横島小学校校舎防水工事、桐見川小学校閉校に伴う補助金100万円。デジタルテレビ、野球カウンタ表示器購入など。

#### 水道事業会計

旧水道塔の取り壊しなど。

【補正予算に関する質疑は10頁】

# 歳出総額

# 67億8642万円

町債（借金）残額58億0086万円（対前年1億4665万円増）

平成22年度の各会計決算並びに基金の運用状況は、9月定例会で審議し全会一致で認定しました。

## 監査委員意見（要旨）

池裕生・寺村晃幸

### 一般会計

#### 国庫支出金の減額

前年に比べ歳入で1億5941万円、歳出で2億6095万円減額している。歳入減の要因は、定額給付金の終了や国の臨時交付金の減額によるもので、歳出減は、普通建設費や定額給付金などの国交支出金事業の減額が主な要因である。

#### 町税収が毎年減額

町税徴収率は94・1%で4億6182万円の収入で前年より1439万円減額。不能欠損額が増えたが、収入未済額の減額は良い傾向である。

#### 65・3%が依存財源

国・県の補助金、地方交付税の割合が65・3%を占める一方で町税収入が10%にすぎず、依存財源に頼った財政体質である。

国・県の動向に留意して、有利な事業・財源確保に努め、健全な財政運営の維持を期待する。

町債（借金）残額が前年より3・36%、1億4496万円増えているのは注意を要する。



決算審査状況

### 簡易水道会計

#### 町債（借金）が増加

使用料および手数料は99・3%が収入済み。片岡簡易水道（宮ヶ奈路地区）施設整備工事に要した借入金により、町債（借金）残額が6198万円と増えている。

### 水道会計

#### 未収金が増えている

南海地震等における逆流防止対策として緊急遮断弁が設けられ、地震などの災害に強い給水施設となった。未収金が前年より35万円増え、特別損失も増えており、使用料徴収に一層の努力を期待する。

#### 給水原価7円安は評価

配水量、給水量とも減少しているが、総費用を前年比89・4%と抑え、給水原価を前年より7円近く安くしたことは評価できる。

使用料を低く抑えているが、総収益が減少傾向にあり、料金改定の検討も必要である。



改修した保育園給食室

### 下水道会計

#### 水洗化率が伸び悩む

収入未済額が前年度から150・9%、17万円増えており、徴収努力を期待する。水洗化率は23年3月末で49・9%（前年度49・1%）と微増だが、伸び悩んでおり一層の加入促進に努めること。

### 国保会計

#### 不納欠損額に注意

収入済額は1億2974万円と調定額に対して82・9%で、金額は1621万円減額している。不納欠損額が前年度から145万円増えており注意を要する。

#### ●不納欠損額

予定した収入が滞り、時効成立などで徴収できなくなる金額。

#### ●収入未済額

予定した収入のうち、出納閉鎖日（5月31日）までに入金されなかった金額。

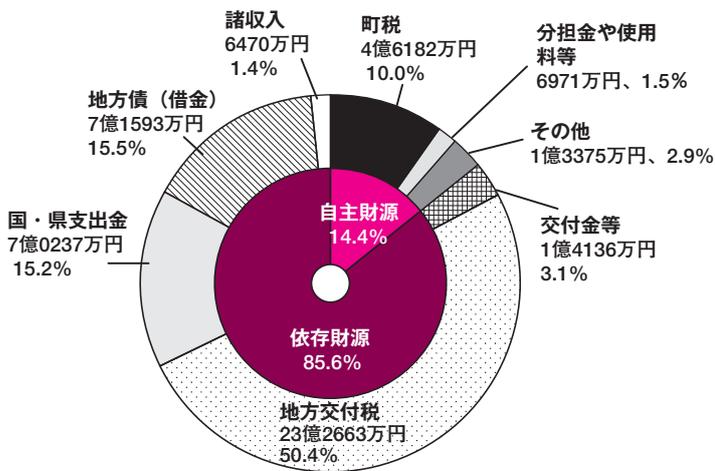
#### ●給水原価

総費用から受託工事費や材料売却費を除いた金額を年間給水量で割った1トン当たりの単価。

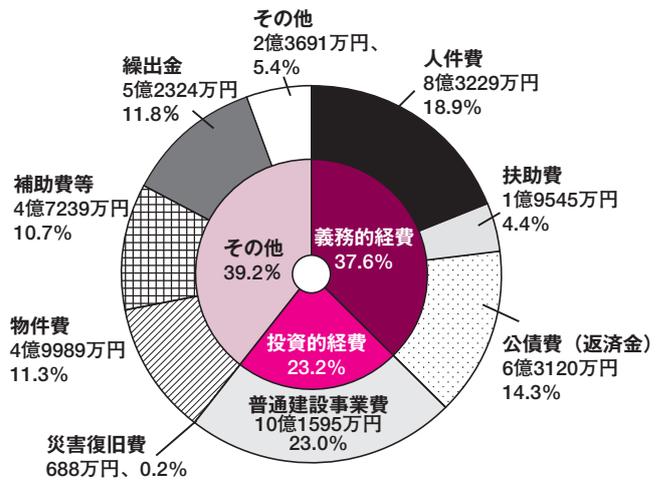
平成22年度は61円12銭。

# 平成22年度一般会計決算の内訳

## 歳入 46億1627万円



## 歳出 44億1420万円



## まちの財政力

区分	年度	20年度	21年度	22年度	説明
財政力指数 (3カ年平均)		0.20	0.20	0.20	行政が必要な費用をどれだけ自前で調達できるかを示す値。1に近いほど財政に余裕がある。
経常収支比率		93.3%	89.9%	84.8%	人件費や物件費などの経常的な経費が一般財源に占める割合。90%以上は危険域とされている。
実質公債費比率 (3カ年平均)		16.1%	14.2%	11.7%	町の収入に対する借金返済の割合。18%を超すと借金が許可制になり、25%を超すと単独事業は制限される。

## 平成22年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	46億1627万円	44億1420万円
特別会計		
簡易水道	7573万円	7564万円
国民健康保険	8億7786万円	8億7745万円
老人保健	267万円	267万円
下水道	1億5089万円	1億5080万円
土地取得	2928万円	2928万円
蚕糸資料館	15万円	15万円
自然の森博物館	2337万円	2337万円
介護保険	10億3153万円	10億2931万円
後期高齢者	1億0457万円	1億0337万円
企業会計(水道事業)	6692万円	8018万円
合計	69億7924万円	67億8642万円



農協が補助金で導入したピーマンの自動選別機を視察

# 赤字、資金不足はない

平成22年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、財政赤字および資金不足は生じていない。引き続きこの指標を注視し、健全な財政運営を維持しなければならない。

## 経営健全化判断

会計名	資金不足比率		経営健全化基準	審査結果
	21年度	22年度		
水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし
簡易水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし
下水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし

## 財政健全化判断

指標	健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準	審査結果
	21年度	22年度			
①実質赤字比率	—	—	15.0%	20.0%	赤字なし
②連結実質赤字比率	—	—	20.0%	40.0%	赤字なし
③実質公債費比率	14.2%	11.7%	25.0%	35.0%	基準以下
④将来負担比率	43.6%	32.5%	350.0%		基準以下

### ●実質赤字比率

普通会計（一般・土地取得・蚕糸資料館・自然の森博物館）の収入と支出の差額の標準財政規模に対する割合。

### ●連結実質赤字比率

町のすべての会計の赤字と黒字の差額の標準財政規模に対する割合。

### ●実質公債費比率

町の収入に対する借金返済額の3年平均の割合。18%を超すと起債（借金）は許可制になり、25%を超すと単独事業の借金は制限される。

### ●将来負担比率

借金の返済額や将来的に背負う借金、一部事務組合や第三セクターなどへの負担額などから、町の貯金や借金返済のための補助金や交付税を差し引いた額を、標準財政規模から交付税の借金返済に充てる分を差し引いた額で割った値。

### ●資金不足比率

公営企業の資金の不足額（赤字）が事業規模に対してどの程度あるかを示す比率。

### ●標準財政規模

自治体が標準的な状態で収入が見込まれる一般財源の規模。22年度はおよそ28億9400万円。

# 使い道を徹底検証 (賛成全員で認定)

一般会計

## 固定資産税

### 284万円を不納欠損処分

**片岡(清)** 固定資産税の不納欠損額284万円は、3年過ぎたら払わないで済むのか。

**税務課長** 不動産や保険金、預金調査などをして、差し押さえもしている。

最終的に資力の回復が見込めず、取るべき財産もないということ処分した。

## 予防接種443万円の不用額

### 健康対策に努力を

**岡林(学)** 保健衛

生費の予防費の不用額が多いが、健康に対する取り組み、対策ができていないのではないかと。

**住民課補佐** 子宮頸がん、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けた人数が予測より少なかった。

### 要援護者見守り体制の

#### 台帳完成

**武智** 災害時要援護者見守り体制整備事業の台帳整備

は3年で約900万円使っているが、台帳は完成したか。また、本年9月4日の防災訓練で活用したか。

**住民課長** 6月にできた。

**総務課長** 要援護者を対象の訓練はしていないが、今後は対象にする。

## ブロードバンド化 予定加入見込めず 2400万円の不用額



衛星ブロードバンド受信アンテナ

**市原** 総務管理費の委託料

の翌年度繰越明許費1000万円の使途と工事請負費と備品購入費の不用額が出た理由は。

**企画課長** 第5次総合振興

計画委託料で、作成日数が掛かるため繰り越した。

**総務課長** 不用額は、ブロードバンド化事業で、加入

が見込めない地域があり、事業を縮小・効率化して実施したため。

### 公有財産台帳

整備委託費304万円

**市原** 公有財産台帳整備委託業務の304万5000円の目的は。

**総務課長** 公会計制度がで

き企業会計的なものに移行していく。貸借対照表を作るため、町の土地、建物などの財産に金額を入れた台帳を整備する。

ふるさと寄付金

10人で120万円

**市原** 10人のふるさと寄付金120万円は、使い道の希望があるか。

**総務課長** ほとんどの人が指定していないので、基金に積み立てている。

### 宿日直の委託は

シルバー人材センター

**山橋** 庁舎の宿日直と町民会館の宿日直の差額の理由と委託先は。

**教育次長** 町民会館は清掃業務を含んでおり、庁舎は含んでいない。委託先はシルバー人材センター。

### あつたかふれあいセンター

臨時職員雇用

**高橋** あつたかふれあいセンター事業の委託料の内訳は。

**住民課長** 10月からの臨時職員雇用に359万6321円。その他126万768円。

裏面に続く

一般会計続き

# 定期路線バス買い替えに 903万円の補助金

**岡林(学)** 廃止路線代替バス車輛購入費903万円は町が全額の負担か。何人乗りか。

**総務課長** 県と町が半分ずつで、事業者は登録費用のみ。29人乗り。

## 29人乗りに1日2.9人

**武智** 廃止路線代替バス運行費補助金608万9000円は、17年度から毎年出ているが、1便当たりの平均利用者数は。

**総務課補佐** 越知く桐見川間が1日2・9人。その他が1日7・5人。



利用者が少ない代替バス

**法律で29人乗りが必要**

**山橋** 出来地から中仁淀橋までは、29人乗りより小さくしたら安上がりではないか。

**総務課長** 定期路線バスは旅客運送法上では、29人乗りが必要だ。

**町プロモーション映像間もなく完成**

**武智** プロモーション映像製作はできたのか。

**企画課長** 22年度は撮影とか企画立案ということでは100万円を使った。

22年6月から四季を通じて撮影しており、間もなく完成する。

## 住宅料未収金159万円

**山橋** 住宅使用料の収入未済額159万6400円の

内訳と最高額は。所得に応じて払う能力がある人が入居しており、払えないのは納得できない。

**総務課長** 小舟と他の住宅で14人。最高額は41万5000円。

収入がなくなり払えないこともあるが、接触して滞納がないようにする。

# 県道伊野仁淀線(黒瀬片岡工区) 負担金繰り越し204万円

**武智** 土木費負担金の繰越明許費204万円の内容は。

**産業建設課長** 県道伊野仁淀線、黒瀬片岡工区の繰り越し改良工事の負担金。



県道の2車線化が進む片岡地区

**過疎計画は自前で作成**

**小学校体育館西側道路用地費1142万円**

**武智** 22年度予算では過疎地域自立促進計画業務委託費を400万円計上しているが、支出していないのはなぜか。

**藤原** 町道四ツ辻線の公有財産購入費と補償費の内容は。

**産業建設課長** 越知小学校体育館の西隣で、建物の移転補償費に10万円と土地購入費が1142万3958円。

**企画課長** 委託しないで作ったため予算は執行していない。

**ゴミ収集入札パッカー車所有が条件**

**片岡(清)** ゴミ収集の入札は安ければ誰でもできるのか。パッカー車が必要と思うが。

**環境水道課長** 入札は最低制限価格を設けていないので安くても構わない。パッカー車の所有が入札の条件になっている。





安くておいしい水を安定供給

## 水道会計

### 基本料金330円は安い

**山橋** 本町は水道料金が大変安いですが、他町村との比較は。

**町長** 同じ人口規模で見ただけで、全国で10番以内と思う。

**環境水道課長** 19年の基本料金で、佐川町650円、本町は330円で県下的にも安い。

### 1、2年で改定しない

**齋藤** 水道料金改定の必要性が監査委員の意見書にあり、18年頃に議会でも取り上げられたが、実情はどうなっているか。

**町長** 当時は議会通過が不可能と判断したが、いずれば割り切って上げることになると思う。

**環境水道課長** 19年12月に改定案を示したが、その後、純利益が見込まれ、1、2年で改定する必要はないと思っている。

## 国保会計

### 7年ぶりの基金繰り入れ

**齋藤** 基金繰り入れが970万円だが、仮に基金がない場合、国保税で賄うとしたら一人当たりいくらになるか。

**住民課長** 基金繰り入れは7年ぶりだ。医療費が増え、税収や国からの交付金が減った。

基金繰り入れを国保税で賄うとしたら、一人当たり5237円増える。

## 介護保険会計

### 苦しい保険料負担

**齋藤** 予算規模が8億円から10億円に増えた。

国民健康保険だけだったものが、介護保険や後期高齢者保険料などが引かれて大変な状況だ。

**住民課補佐** 介護サービスが伸びており、先が見通せない状況だ。財政上、難しい問題となっている。

## 増え続ける医療費

**齋藤** 入院の療養給付費はいくら増えたのか。

**レセプトを見ての傾向は、**  
**住民課長** 1件当たり20年が38万7000円、21年が38万9000円、22年が45万4000円。

**住民課係長** 19年頃から入院の単価も件数も増えている。骨折などによる高齢者のリハビリの日数が長くなっている。

## 下水道会計

### 水洗化率約50%

**齋藤** ここ数年の水洗化率の経緯は。

**環境水道課長** 22年3月末で49・1%、23年3月末で49・9%。

## 博物館会計

### 年間8700人が入館

**山橋** 観覧料が昨年度より83万円増えているが、龍馬博の影響か。

**教育次長** 21年度は改修工事のため入館者が減った。22年度は8768人と通常の入館者数に戻った。

## 育英基金

### 貸付金は返されている

**山橋** 片岡育英基金、越知町育英基金、小田原育英基金からの貸付金は、返済されているか。

**教育次長** 今のところ返済はされている。



おもしろアニマルフォトコンテスト写真展(9/23-1/9)  
「横倉山自然の森博物館」

# 平成23年度補正予算質疑

## 一般会計

### 町書庫の整理 732万円

**齋藤** 総務管理費の書庫整理事業732万円の内容は、総務課長 業者委託して、その業者が11月から3月まで5人を新たに雇用する。その人件費分に県の緊急雇用創出事業の補助金を充てる。

情報公開への対応、適切な文書管理を行うため、保存年限の区分やラベルの作成、データ化などを行う。

### 園児2人

### 佐川町に広域入所

**西川** 児童福祉費の広域入所223万円の内容と人数は。

**住民課長** 佐川町の海津見保育園と黒岩中央保育所の各1人。

### 町民会館駐車場舗装部分が広がる

**藤原** 町民会館駐車場舗装工事はどの程度やるのか。教育次長 屋内多目的運動広場の南側で約1730平方メートルを計画している。駐車台数は78台を見込んでおり、全体で約140台が駐車できる。



駐車スペースが広がる

### 桐見川小学校 閉校式に100万円

**岡林(学)** 桐見川小学校閉校式実行委員会補助金100万円の内容は。

教育次長 校区内の区長、公民館を中心に実行委員会を立ち上げてもらう。記念碑、記念誌、小学校歴史の保存版、祝賀会などを計画しており、閉校式は2月下旬から3月上旬を考えている。

## 水道会計

### 旧水道塔 取り壊しに136万円

**齋藤** 旧水道塔の取り壊し136万円はどの部分を壊すのか。

**環境水道課長** 2階の円形の本造部分を壊して、底を鋼材で覆って、隣の2階へ出入りする扉を付ける。

**町長** 町の歴史ある建物だが、復元には費用も掛かる。残念だが理解を願う。

## 今号の表紙

「明治地区ぐるみ運動会」が10月16日に明治中学校グラウンドで盛大に行われた。地区内の小・中学校は休校になっていて、この日はばかりは大勢の卒業生や老若男女が駆け付け、越知中学校生徒会や高知ファイティングドッグスも参加した。

今年は30回の節目となり、地区民に記念タオルを配り、液晶テレビなどの豪華賞品が当たる「ウルトラクイズ」を行うなど、趣向を凝らした催しに、一日中、山あい大きな声援と笑い声が響き渡った。

(撮影・中内利幸氏、鎌井田)



白熱の競技もフラダンスでちよつと息抜き  
横島地区民運動会(10月16日) 撮影・大原泰生氏「横島中」



# 桐見川小学校 117年の歴史を閉じる

来年4月1日閉校



## 桐見川小学校の廃止

桐見川小学校を廃止し、来年4月1日から閉校とする。

(平成24年4月1日施行)

(賛成・全員)

桐見川小学校は毎年地区民運動会などに活用されている

開校から117年の歴史を閉じる。

今後、地域の公民館活動や防災活動の拠点など、多様な用途で利用する。

閉校式は来年2月下旬から3月上旬に行う予定。

## 納税の不申告 過料を10万円以下に

町民税について、正当な理由もなく納税申告をしなかった場合、過料を現行の3万円から10万円に増額する。

また、寄付金の税額控除の適用下限額を現行の5000円から2000円に引き下げる。

(9月16日施行)

(賛成・全員)

## 災害弔慰金 支給範囲を拡大

災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲を、兄弟、姉妹まで拡大する。

ただし、亡くなった人の配偶者、子、父母、孫、祖父母のいない場合で、同居または生計を同じくしていた人とする。

平成23年3月11日以後に生じた災害に適用する。

(9月16日施行)

(賛成・全員)

## 陳情

### 上流地区の

### 飲料水供給施設の改修を

地区の取水地は集落から300mほど上流にあり、木の葉や土砂が度々詰まり、台風などでは詰まるだけでなく濁るため大変困っている。

住民の高齢化が進み、今の施設を維持することも難しくなっている。

住民が安心して生活ができるきれいな生活水を確保するため、飲料水供給施設の改修を要望する。

陳情者 西森正幸 (五味区長)

西森時子、西森博、西森勝子、西森萩野  
古味優次、西森マキノ、西森泰弘



審査を付託された産業建設常任委員会(委員長 斎藤政広)6人と委員外議員4人が同行して現地調査を行い、審査の結果、採択すべきと決定し、本会議において全会一致で採択しました。

# 意見書

9月議会では、3件を全会一致で可決し関係機関に提出しました。

## 国民健康保険の国庫負担を45%に

**提出者** 斎藤政広議員  
国保加入者の平均所得が低下し、それに伴い国保税の滞納世帯が急増し、「払いたくても払えない」国保税となっている。

1984年から国庫補助金を引き下げたことが要因で、国民皆保険制度を維持するため、国庫負担割合を当時の医療費総額の45%に戻すことを求める。

(賛成・全員)

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

## 一次産業の再生と振興を



子どもたちも農業体験でお米の大切さを学ぶ(遊行寺)

**提出者** 武智龍議員  
中山間地域の農林漁業は、過疎、少子高齢化や鳥獣被害、地球規模の異常気象などで衰退し続けている。

一方、都市部は過密化が進み、高知市周辺には4割もの人口が集中する不均衡が生じている。

(賛成・全員)

【提出先】内閣総理大臣、農林水産大臣

## 防災対策へ行政機能の充実

**提出者** 岡林学議員  
地域主権改革や独立行政法人の制度・組織の見直しなどにより、行政サービスの低下を招かないよう、国と地方の責任と役割を再検討すること。

防災対策など、住民の安心・安全を支えるため、国の出先機関の体制や機能の充実を図り、南海地震などの対策や被災時の迅速な復旧・復興ができるよう出先機関の廃止や移管は行わないこと。

(賛成・全員)

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣

## 臨時会

臨時会は8月4日に開き、3件を全会一致で可決しました。

## 防災行政無線放送デジタル化整備事業

● 契約金額

2億4454万1850円

● 契約の相手

日本無線(株)四国支店  
支店長 倉田康司  
(賛成・全員)

## 小型動力ポンプ付き消防車の購入

● 契約金額

822万6750円

● 契約の相手

高知消防システム(株)  
代表取締役 甲藤隆  
(賛成・全員)



お湯も使えるシャワー室

**黒瀬ログハウスに有料シャワー室**  
黒瀬ログハウスに3分間100円の有料シャワー室を2棟備える。  
(9月16日施行)  
(賛成・全員)

## 防災訓練

# 実施状況と継続は

## 370人参加、来年も実施／町長

**問** 9月4日の防災訓練の参加人数は。また、来年度以降も今回のような訓練を実施するののか。

自主防災組織は、平成23年度末に100%達成しなければならぬとのことだが可能か。



山橋正男 議員

## 大原総務課長

今まで、桑藪、日ノ浦・清助、野老山でヘリポートなどを使った訓練を行った。今回は4回目、市街地の自主防災組織の地区を中心に避難訓練、消火訓練、炊き出しなどを行った。

参加者は370人で過去最高であった。

自主防災組織は、県の目標が23年度末80%、26年度末100%に変わった。

現在、64・6%だが、東日本大震災後は防災意識も高まっており、80%には近づけそうだ。

## 吉岡町長

370人と予想以上の参加であった。来年度以降もこのような訓練を実施する。



みんなで防災訓練

## 一般質問

## 経営責任は誰だ

携わった全役員にある／町長

## ソニア



(株)ソニアの損益一覧表

年度	損益額 (千円以下切捨)
H5～H15	△2億9766万円
H16	△5000万円
H17	△1億1233万円
H18	△1億1429万円
H19	△1億5499万円
H20	△1億0171万円
H21	△8823万円
H22	△1億0516万円
合計	△10億2437万円

譲渡が検討されている(株)ソニア

**問** 解雇した職員を最後まで世話をするのが役員の責任だ。27人の再就職はどうなっているのか。

(株)ソニア設立から平成22年度までの単年度損益は。また、破たんの責任は誰にあるのか。

バブルの崩壊や新規事業への切り替えなどが問題であったと思う。責任は携わってきた役員全員にある。

今後、円滑に新たな林業組織に譲渡され、経営が軌道に乗り、雇用の確保につなげることも責任である。

## 吉岡町長

就職が決まった者が14人。職業訓練へ申請している者が2人。在職者1人。未定が10人だが、何とか就職させたい。

## 盗難事件の責任

**問** 国保税滞納資料などの盗難の被害届が税務課長名で出されている。

本町の最高責任者は町長であり、町長名で出すべきではなかったのか。

『広報おち』に町長名で「お詫び」を載せているが、議会の場で町民に謝罪するべきだ。また、責任はどのようになっているのか。

## 調査の結果で判断

## 吉岡町長

担当課長と警察との話の中で担当課長が出すのが望ましいとの判断をして課長名で出した。責任は、現在調査中であ

## その他の質問

**問** 子ども手当はどのように変わるのか。

**答** 3歳未満が1万5000円。3歳から小学生までが1万円。第3子以降は1万5000円。中学生は1万円。いずれも月額。

**問** 明治地区の総合検診がなくなるが。

**答** 受診者が県の基準に達していないため、来年度から保健福祉センターで行う。

防災対策

被災者支援システムの導入は  
小規模自治体での効果を研究／総務課長



市原静子 議員

**問** 兵庫県西宮市で開発された「被災者支援システム」は、災害発生時に住民基本台帳を基に被災者に必要な支援を円滑に行うことができる。

被災状況さえ入力すれば罹災（りさい）証明書の発行や義援金・支援金の交付、緊急物資や仮設住宅の入退居などの管理が行える。いざという時にいち早く住民を守るこのシステムを導入する考えはないか。

**大原総務課長** 被災者支援システムは2009年に総務省よりソフトウェアが無償で配信されているが、本町のパソコンにそのまま取り込むことはできない。災害時に役立つということと普段からの備えも大事であり、本町のような規模の団体でも効果があるのか研究したい。

学童保育

指導員を増やせないか

2学期の状況を見て判断／教育長

**問** 学童保育「コスモスクラブ」は、子どもの人数に対して指導員が少ないとの保護者から心配する声がある。

大切な子どもの安全確保のために増員はできないか。

**山中教育長** 条例では児童30人に指導員1人となっているが、現在63人に3人

である。夏休みは70人に4人を配置した。

近隣町村の状況は、佐川町が16人に1人。日高村は15人に1人。中土佐町は19人に1人。いの町は18人に1人となっている。

2学期の状況を見ながら、保護者の意見も聞いて、増員が必要なら考えたい。



放課後は宿題やゲームなどで楽しく過ごす

携帯電話への緊急通信導入を

**問** 緊急地震速報や気象情報、大規模テロ情報などが電話会社から自動的に携帯電話に送信されるサービスが全国的に広がっているが、導入できないか。

導入を進める

**大原総務課長** 県内で11団体が導入しており、加入地域内なら町外から訪れた人でも受信できる。

利用者の登録や使用料、町負担もいらない。現在はNTTドコモだが、他社も始めるようであり、進めたいと考えている。

その他の質問

**問** 災害時に避難場所となる学校施設の防災機能を高める対策は。

**答** 全体的に整備が必要で、食糧や水、毛布などを最低限備える防災倉庫を検討している。

**問** 子どもの命を守る防災ヘルメットの常設ができないか。

**答** 学校側と協議して来年度に予算計上したい。

**問** 保育園、幼稚園、小・中学校に窓ガラスの飛散防止フィルムを張っているか。

**答** 本年度中に整備できる。

**問** 公園の遊具の点検と安全対策は。

**答** 専門業者に委託して年1回点検している。

## 横倉山

# 案内板と登山道の整備を

### 来年度に予算化する／企画課長



高藤政広 議員

消えかかったり、ルートが間違っている看板がある。訪れる人が安心して散策できる案内板の設置が望まれる。



秋山森園所 空池 住吉



## 交流事業

### 旧芸北町との今後は

#### 秋に訪問して話し合う／教育長

**問** 北広島町旧芸北地域の小学校との夏の子ども交流の中止の連絡はどのようなだったのか。

中止は今回だけか。それとも終わりなのか。

本町から行っているスキー体験はどうなるのか。

町長は、熱い思いで交流を始めたと思うが、今後はどのような交流を進めるのか。

**吉岡町長** 熱い思いは冷めていない。行く機会が少なくなったが、子どもとの交流は何らかの方法で続けられないか協議したい。

**山中教育長** 芸北支所長から6月27日に諸事情で夏の交流は行けなくなったが、冬のスキー体験は受け入れるとの連絡があった。今年の冬の交流は募集するが、これが最後かもしれない。

秋に北広島町を訪問して今後のことを話し合う。

### 地区の思いと違う道路管理

**問** 本年度から道路工場の雇用を業者との契約に変えた経緯はどういうことだったのか。

また、集落の思いと懸け離れた作業状況もあると聞くが、契約先との打ち合わせは十分だったのか。

地元や前任者の意見を聞き改める

**小田産業建設課長** 須崎の労働基準監督署から、町が雇用する場合は労働基準法や安全基準法に問題があり、雇用形態が良くないとの勧告を受け、本年度から建設業協会に委託することにした。

詳しい作業内容は、今までの工夫さんの指示を受けるよう指導したが、地元から苦情がきたケースもあり、反省点もあった。

下半期は地元や前任者の意見を参考にして、改めるようにしたい。

## その他の質問

**問** ジオパーク協議会の活動状況は。

**答** 昨年度は総会3回、担当者会を10回開き、本年度は資源の掘り起こしでマップなどをまとめた。

仁淀川流域では3年をめどに住民の目に見えるものを作りたい。



高橋 隆弘 議員

人材育成

職員派遣の成果を示せ

役場や本人にプラス／町長

を指導したか。  
派遣の費用はいくらか。

**吉岡町長** 民間企業が利益を上げるための努力や知恵を働かせ死に物狂いで働いている姿を知ることが、役場や本人にとって大変プラスになる。

期間は半年だが、これまで2人を派遣している。

すぐに何かを変えようとは考えていないが、終了後に全職員を対象に、研修の成果などの報告会を設けた。

**岡副町長** 研修の成果をどう生かすか指導はしていないが、今後、PDCAサイクルによって生かしていきたい。

**大原総務課長** 費用は職員の給料、旅費など。報告会の参加者は20人だった。

**PDCA**  
計画・実行・確認・修正をセットにして繰り返し、確認を繰り返すこと、確認を行いつつ、取り組みを見直す。

**問** 職員を民間企業に派遣した狙いとその成果を日常の業務にどのように反映させているのか。  
また、職員を統括する副町長は研修成果の生かし方

交通弱者対策

誰でも利用できるバスを  
サービスを慎重に考える／町長

**問** 患者バスは、家族の見舞いや運行の対象でない地域の患者は利用できないので不便だ。

**吉岡町長** 町全域をフォロースする事は難しいので、すぐやるという返事はできない。

ある地区では人口の4分の1が交通弱者で、誰でも利用できる交通手段を望んでいるが、検討できないか。

どこまで行政としてサービスができるか慎重に考えたい。



通院だけでなく、みんなが自由に使えるバスが望まれている

6次産業化を図れ

**問** 6次産業化をどのように考えているのか。

産業振興の仕事をごなすには時間も掛かるし積み上げも大事だ。

産業振興担当者を産業建設課から分離して、違う組織はできないか。

やる気のある人を支援

**吉岡町長** 6次産業化は

県が進めているが、本町で取り組む場合、加工と販売の段階で大きな問題がある。多額の費用が必要かもしれないが、やる気で取り組む人には支援したい。

新しい組織化が可能なのか、課長会で意見を聞いて慎重に検討したい。

**6次産業**  
農林水産業において、生産（1次産業）だけでなく、食品加工（2次産業）と流通・販売（3次産業）に関わることで、地域資源を活用した新たな産業を生み出し、農山漁村の活性化を図る。

その他の質問

**問** 複数の地区による集落営農の組織化を進めることはできないか。

**答** 一つの目的で地区外の人と組織をつくることは可能である。

**問** 総合振興計画にある平成32年の人口60000人は本当に達成するのか。

**答** 住宅建設や農業従事者の確保、町外からも入れる産業づくりなどで60000人を目指して頑張る。

## 水道施設

# 山間地の維持管理を委託に

## 委託費用の半分を補助する／環境水道課長

**問** 山間集落の飲料水の  
水質調査の現状はどうなっ  
ているか。

また、取水口までの道が  
危険な所や豪雨のときは水  
が濁る心配もある。

高齢化して管理も難しく  
なっており、地区民が交代  
でやっている維持管理を委  
託業務にできないか。

### 北添環境水道課長

表面水

めている。

を飲料水にしている地区は  
検査が必要だが、検査料金  
は地元負担となる。

現地調査に行くと維持管  
理が大変と聞いており、管  
理を委託する場合は費用の  
2分の1を補助する。

水道施設についてのアン  
ケート調査と台帳整備を進



新しくなる中太平洋の給水施設(上)新設中(下)現在の施設



高橋 文一 議員

## 一般質問

## テニスコート

# 屋根付きで多目的活用を

## 新たな整備は難しい／教育長



屋内だと様々な活用ができる  
【地域のみんなで自主防災】

**問** 町民会館に併設の多  
目的運動広場と屋外のテニ  
スコートの利用状況は。

また、テニスコートを多  
目的運動広場のような屋根  
付きにして、災害時などに  
は避難施設として活用でき  
ないか。

### 山中教育長

テニスコー

トは昭和59年にでき、当初  
は1万1759人の利用が

あつたが、平成22年度は1  
26人となっている。  
改修もしていないので、  
かなり古くなっている。

多目的運動広場は、平成  
22年度の利用者が2181  
人で、十分対応できてお  
り、新たな建物を造るのは  
難しい。

スポーツ関係者の意見も  
聞き、防災については総務  
課と協議する。

## 人口増の考えは

**問** 第5次総合振興計画  
で、10年後の人口を600  
0人とする目標は、最もす  
ばらしく最も難しい計画だ  
地元の企業、づくりを支援し  
て、少しでも人口を増やす  
ことを考えてはどうか。

## 人が去らない努力

**吉岡町長** 企業をつくる  
のは難しい問題だ。

国道33号の整備などに  
よって高知市にも近くな  
り、通勤時間も短縮する。  
『おち駅』を中心に枝を  
伸ばし、住宅対策や農業の  
担い手、福祉や教育の充実  
などをアピールして人が去  
らないよう努力する。

## その他の質問

**問** 横島小学校の改修基  
本設計はできたか。

**答** まだできていない。



片岡清則 議員

株式会社ソニア

赤字続きで取り返しがつかない

新しい事業への再生が使命だ／町長

**問** 株式会社ソニアは、平成5年から佐川町、越知町、旧仁淀村、旧池川町、旧吾川村が、計15億6750万円を出資し、二つの金融機関と仁淀川森林組合も出資して運営してきたが、初年度から赤字続きで、取り返しのつかない状況になっている。

この責任をどのように感じているのか。

ソニアの債権や債務、金融機関と森林組合の出資金の処理はどうなる。

解散した場合、今後の事業は、仁淀川町の7業者による新たな林業組織に確実に引き継がれるのか。

**吉岡町長** 最大の責任は、この会社をつぶさずに新しい事業に再生することであり、使命でもあると思っている。

政策金融公庫からの借入金と佐川町への固定資産税滞納分は11月末ごろに一括償還を予定している。

仁淀川森林組合の出資金は精算をする。同組合への

貸付金は返済要求をしており、返済されたら農協からの借入金を一括繰上償還する。

金融機関には周知済みで、総会には委任状も出されており、任せるとのことだ。

再生問題は仁淀川町が担当して進めており、県を交えて話し合った中で、新たな組織に引き継ぐことはできると聞いている。

**岡副町長** 新たな林業組織は、国の補助を受けるための要件の一つに、5人以上で構成する組織が必要であり、これから認可手続きを経て、認可されて結成という形になる。

これが決まらない限り、次の段階に移れないということだ。

道路改良

保健福祉センター西側道路の2車線化は

今後の検討課題だ／町長

**問** 9区の保健福祉センターの西側の町道は、大型車の通行が多く、道幅も狭いため、軽四輪車でも行き違いができない。

かつて国道33号から北側に抜ける南北道路にも取り組んだが、用地問題で断念している。

財政事情から考えて簡単ではないと思うが、道路の2車線化に取り組めないか。

**吉岡町長** 多くの費用が必要で、他の事業も進めているので、今後の検討課題とする。

現段階では難しい

**小田産業建設課長**

現状は十分承知しているが、東側は建物があり、西側は坂折川があり、高低差も大きいため、現段階では予算化は難しい。

狭い道は対向車を待たんといかん



盗難事件の責任は

**問** 町の個人情報報道盗難について、町長は被害届を出さないとのことだったが、議会は出すべきであると申し入れた。

被害届を税務課長名で出したことは、担当課がやればよいとの考えか。

今後、町長、副町長の責任も問われるのではないかと

調査後に取る

**吉岡町長** 職員の中でも

疑心暗鬼が生じてきたため、議会の意見も十分踏まえて、被害届を出した。

現在、警察が調査中であり、その結果で最終報告をして責任を取ることが原則と思っている。

その他の質問

**問** 町道笹林線(3区)の側溝蓋の延長を。

**答** 今議会に予算提案しており、これで要望箇所は完了する。

# あれはどうなっちゅうが？

## 学校給食共同調理場の建設は

(平成22年9月議会)

**斎藤政広議員** 小中学校の給食共同調理場の建設について、用地交渉はどのようになっているか。

### 結論を急ぐよう指示

**町長** 平成20年度から進路も含め、交渉を進めているが、時間が経ち過ぎており、早く結論を出すよう指示している。  
**教育長** 建設は平成25年度に予定している。

処理状況

## 平成25年度に計画

小中学校の共同調理場工事は、過疎計画では平成25年度に2億2000万円で計画している。

**進上路用地【8ヶに関連記事】**は平成22年度に購入し、今後は進上路の整備や共同調理場の用地の取得などが急がれる。



購入した進上路用地【右側が小学校校体育館】

## 広域議会

### 消防庁舎改築基本設計が完了

消防庁舎の改築は、耐震・耐火に優れた鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積1900平方メートルで基本設計が終わった。今後、電気・機械設備などを含む詳細設計に掛かり、10月中旬には全体設計を完成させる。

### 衛生センター 四国一古い施設

衛生センターは1965年から46年間稼働し、四国では最も古い施設となっている。耐震補強を含め、施設の延命化を図るのか、更新するべきかを検討中である。

## 平成22年度高吾北広域事務組合決算

区分	歳入	歳出
一般会計	9億2497万円	8億8335万円
特別会計	特別養護老人ホーム	12億5396万円
	養護老人ホーム	1億1841万円
	知的障害者更生施設	1億5709万円
	ふるさと市町村圏	6万円
合計	28億0160万円	24億1287万円

22年度決算を認定

定例会(9月2日)

議会です  
こんにちほ

# 平家伝承と横倉山で町おこし



「越知平家会」の織田義幸さんと澤田泰彦さんに、会の活動状況などをお聞きしました。  
平家会は、「横倉山を中心とした町おこしの活動を行う」ことを第一の目的に掲げており、そのために懸命に取り組まれています。  
会員は375人余りで、そのうち東京や仙台、神奈川など、町外会員も150人上っています。



平家会会長の織田さん(右)と澤田さん

織田さんは、長年続けてきた金物店を改装して、「平家伝説関係資料展示室」と名付け、昨年4月4日にオープンしています。

「86年間地域でお世話になった恩返しができる」と、この展示室で訪れた人に平家や横倉山の、歴史や文化を伝えていきます。

会の活動は、毎年4月29日の総会や春、夏、秋の3回催される「平家の宮」例祭をはじめ、安徳帝800年祭を契機に始めた機関紙「越知平家会報」の発行。そして、恒例の研修旅行は、平家にゆかりの地を巡り、訪問先での平家伝承の情報交換も楽しみとのこと。

また、越知から仁淀川町への「三嶽古道を歩くイベント」は、一昨年からジオパーク協議会の協賛で好評を得ています。  
本年度からは、80余りの安徳帝従臣の墓所整備に取り組んでおり、現在20カ所ほどを整備しています。織田さんは「これが数年前からの悲願でした。皆さんが仕事も放ちよいて動いてくれることがありがたい」と述べられました。



澤田さんは「せっかく宝の山があるのに、町内に関心の薄い人が多い」と残念がり、織田さんは「横倉山は国が認めた大きい財産なので、町を挙げて、もつとPRせんといかん」と力を込められました。

## 編集後記

昨年、議員になり、友人から「やり遂げると決意をしたら、半分できたようなものだ」と励まされ、1年が過ぎた。  
議会広報委員として、編集や写真撮影など、先輩議員の指導もあり、精いっぱい頑張っただけの仕事ができています。

特に、「議会ですこんにちほ」の取材は、町の玉手箱の中をのぞく心境で、新しい発見や感動がある。地域の人と触れ合う大切な機会であり、毎回楽しみにしている。

議会だよりは様々な内容の記事を載せているが、できれば多くの町民に議会傍聴に来ていただくことが一番の願いである。  
《市原》

編集・発行責任者

議長 岡林 幸政

議会広報常任委員会

委員長 岡林 学

副委員長 斎藤 政広

委員 武智 龍

委員 高橋 丈一

委員 市原 静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

## 住民懇談会のお知らせ

11月29日(火) 横畠小学校、11月30日(水) 片岡小学校いずれも午後7時から行います。  
たくさんのご参加をお願いします。